

(財)パナソニック教育財団
(理事長・遠山敦子元文部科学大臣)は2月5日、「こころを育む総合フォーラムシンポジウム」を東京都渋谷区の津田ホールで開催した。全国の子どもたちの「こころを育む活動」の実践事例190件の中から、優れた事例の表彰式が行われた後、「進める、広げる、続ける」いま、家庭・学校・地域・企業が一体となるところを育む」をテーマにしたパネルディスカッションで協議を深めた。

◇ ◇ ◇
同フォーラム(座長・山折哲雄国際日本文化研究センター名誉教授)は、様々な社

遠山理事長から表彰を受ける
鴻巣市立鴻巣南小の小淵校長



会事象から浮かび上がる日本人の心の荒廃にはじめをかけようと、同財団が05年に設立。全国6ブロックの個人・

こころを育む 総合フォーラム

校歌で道徳教育

規範意識・教員の研鑽・ 保護者の協力を歌う

埼玉県鴻巣市立鴻巣南小が関東ブロック大賞に

団体の「こころを育む」活動事例を表彰しており、今年は第3回目。学校関係者の注目を集めた

全国大賞は九州・沖縄ブロックのNPO法人オバパト隊(下川邦子代表)が受賞。山折座長から表彰状と100万円の賞金目録が贈られた。オバパト隊は、平均年齢73歳の女性129人が毎昼夜、校区の見守りパトロールをしており、地域と連携して活動の

ティーチャーによる道徳の授業を実施し、お祭りで総合学習の発表をする地域行事参加など多岐にわたる活動が報告された。

表彰式に続くパネルディスカッションでは、鴻巣南小学校の小淵雄司校長が登壇。校歌に着目した学校経営を行っていることを語った。

同校は1951年に開校。その翌年につくられた歌詞が格調高く、児童が歌う機会は多い。1番の歌詞には「希望は月と輝いて富士の雪より清らかにこころをみがく南校」とあり、規範意識を育てる内容。2番では「明るい校舎よい先生」と歌い、教員も研修

せざるを得ない。「力をそえる父と母」とあるので保護者からの協力も得やすく、PTAでも歌うのが慣例となっているという。

これを受けて山折座長は「校歌で道徳教育というのはすごい。歌ってリズムの中で覚えていくのに感銘を受けた」とコメントした。

遠山理事長は「これまでの受賞は学校の中での活動が主だったが、今回は地域が力を持っており、それを引き出す方法があると確信できたのがうれしい。学校だけでやっていくのは難しく、理想に近い事例が示された」と、シンポジウムを締めくくった。